



受難週を迎え、私たちはイエスキリストの十字架の死を覚え、聖餐にあずかります。ここには、主イエスが十字架に付けられ息を引き取るまでの様子と、そこにいる人々の姿が記されています。すべての人は、時代を超えて、イエスの十字架の事実の前に立たされています。あなたはこの十字架をどのように受けとめていますか。

① 「彼ら」とはだれなのか

そのとき、イエスはこう言われた。「父よ。彼らをお赦しください。彼らは、何をしているのか自分でわからないのです。」 34

② 私は、自分の罪に気がついているのだろうか

十字架にかけられていた犯罪人のひとりはいエスに悪口を言い、「あなたはキリストではないか。自分と私たちを救え。」と言った。…39-41

しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。Ⅰ-75:8

③ 私は、どこに立っているのだろうか

この出来事を見た百人隊長は、神をほめたたえ、「ほんとうに、この人は正しい方であった。」と言った。また、この光景を見に集まっていた群衆もみな、こういういろいろの出来事を見たので、胸をたたいて悲しみながら帰った。しかし、イエスの知人たちと、ガリラヤからイエスについて来ていた女たちとはみな、遠く離れて立ち、これらのことを見ていた。47-49

聖餐のみことばと祈り

○主の招きのことば

「主イエスは、渡される夜、パンを取り、感謝をささげて後、それを裂き、こう言われました。『これはあなたがたのための、わたしのからだです。わたしを覚えて、これを行いなさい。』夕食の後、杯をも同じようにして言われました。『この杯は、わたしの血による新しい契約です。これを飲むたびに、わたしを覚えて、これを行いなさい。』」 1コリ11:23-25

○悔い改めの祈り

私たちは、神の愛と赦しを与えられた者であるにも関わらず、罪とあやまちに満ちている者です。「ひとりひとりが自分を吟味して、そのうえでパンを食べ、杯を飲みなさい」とみことばに勧められているように、今、私たちの内に示される罪を告白して祈りましょう。

○赦しのみことば

「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちにいのちを得させていただきました。それによって神の愛が私たちに示されたのです。私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。」 1ヨハ4:10-

○聖別の祈り